

祝 世界遺産勝連城跡 休憩所オープン

市観光・文化の振興拠点として期待



▲県内の世界遺産等を紹介した大型パネル



▲開所式でのテープカット



▲貴重な出土品も展示



▲気軽に休憩できる畳間

市観光・文化の拠点として開所した
世界遺産勝連城跡休憩所



整備が進められていた世界遺産勝連城跡休憩所がこのほど完成し、5月15日開所式が行われました。式には知念恒男市長、崎原弘市議会議長をはじめ国、県の関係者、市民などが出席。知念市長は「今後この施設を多くの方に利用いただくことで、本市の観光・文化の拠点として地域の活性化に寄与するものと確信しています」と式辞を述べました。

その後、テープカットがあり開所を盛大に祝いました。施設内には畳間と勝連城から出土した陶磁器や壺、鎧の装飾品などの一部が展示されているほか勝連城跡の由来と歴史を紹介した大型パネル、市の文化財関連の書物、ビデオが観覧できる映像機器が設置されています。市文化財案内人の一人富山安邦さんは「心待ちにした施設が完成し、うれしい。今後ここを拠点に市の文化財をより多くの人に紹介したい」と笑顔で話しました。

同施設の概要は、総事業費3億873千円、2階建て（事務所・トイレ・休憩所完備、駐車場スペースは大型車6台、普通車39台、身障者用2台を確保。

開所は火曜日・日曜日／午前9時～午後6時（休所日・年末年始、月曜日、但し、月曜日が祝祭日に当たる場合はその翌日）となっています。

電話・098-978-7373

Eメール・katsuren-jo@tontonme.ne.jp

(FAX兼用)

すごいぞ! 2年連続日本一

今年、3月東京で開催されたそろばんの「第12回英語読み上げ算競技全国大会」の暗算部門、読み上げ算・中学2年の部で全国一に輝いた和宇慶美香さん(具志川中学)の功績を称え、市青少年特別表彰が4月20日市役所で行われ、知念市長が賞状などを手渡し、激励しました。

美香さんは昨年同一の競技で、中学校一年生の部でも全国一になっており、二年連続日本一の快挙です。表彰を受けた美香さんは「練習した結果が出て良かったと思います。来年も日本一を目指したいと思います」と新たな決意を述べました。



▲2年連続日本一の報告に訪れた和宇慶美香さん(中央)

楽しい夢いっぱいの護岸アート

ドライブがてらに見てね!

今年、2月うるま市与那城の平安座島、平宮地区の護岸で市内の小中学生ら30チームが参加して行われた平宮護岸アートコンクールで描いた30もの夢のあるアート作品が、観光や県内からドライブ等で訪れる人々の目を楽しませています。絵は沖縄の「ちゅら海」をテーマにジンベイザメと色とりどりの魚を描いたものや学校仲間、環境を訴えたものなど300メートルに渡って描かれています。ぜひ一度ご覧になってみてください。但し、くれぐれも車の運転には注意してくださいね。



▲300メートルに渡り夢いっぱいのアートが続く平宮護岸